

日本聖公会 神戸教区報

# 神のおとずれ

2010年 11月号

発行所 神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者 司祭 芳我 秀一

印刷所 文明堂印刷所

## 夕暮れになっても光がある

—人生の晩年に、教会生活が  
与えられているという幸せについて—

司祭 マルコ 藤井 尚人



## 夕暮れになっても

ゼカリヤ書14章7節には感動的な聖句が書きつけられています。「その日は、主のみ知られている。そのときは昼もなければ、夜もなく夕暮れになっても光がある」。黄昏を英語ではプライムタイム(至福の時間)と言います。

## 会いたくない人にも

「神父さん、天国では亡くなった私の愛する人と再会できなくて本当ですか」「もちろんです。しかし、あなたが会いたくない人にも再会しま

暗闇が迫りつつある夕暮れ時、水平線に(地平線にでも、ビルの谷間にでも)沈む太陽の光が最も美しく輝くように、神さまは、最も素晴らしい恵みの時を、わたしたちの人生の晩年に用意して下さっているのです。「なんとという恵み、なんとという喜び(詩篇133編)」。

## あなたの若い日に

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ(コヘレト書12章1節)」。みなさん、よくご存知のこの聖句、その理由をコヘレトはこう説明しています。「年が寄って『わたしには、なんの楽しみもない』と言うようにならない前に」。

## 人生の秋・祈りの時

え、神さまとよく、馴染んでおきなさいよ。そうでないと、人生の晩年になった時、『ああ、わたしの人生、なんだか空しいな。でも、今さら神さまと仲良くしようとしても、どうしたらいいか、よくわからない。』という嘆きが、あなたを待っていますよ。ようするに、この言葉は、若者に向けて語られている警告の言葉なのです。

ね。

【すべてをなし終えたら、臨終の床に神の声を聞くだろう。「来たれ、わが友よ。われ、なんじを見捨てじ」と。】

1923年にイエズス会の宣教師として来日し、以来54年の間、上智大学学長として、東京イグナチオ教会主任司祭として、その生涯を日本に捧げたヘルマン・ホルベイス神父(1890-1977)が「南ドイツで一人の友人からこんな詩を教えてもらった」と、その著書「人生の秋」の中で紹介されている最上のわざという詩があります。

これを、現代風に言い直しますと「そこのお若いあなた今のうちに教会や学校のチャペルに足を運んで、祈りを覚

愛するすべての人の上に、神の恵みを求めるため」。

この詩の通り、教会の高齢化は、教会が「真の祈りの家」になる、絶好の機会です。そのような高齢者の祈りの姿は、信仰が単なる「知識」や「趣味」や「思想」などではなく、人生の「道」であり、「真理」であり、「生命」であるという無言の福音宣教。そして、最新の時、「友よ」というイエスさまの声が天から聞こえて来る、それこそが信仰者にとって最高の幸せ、なのです。

10月31日は、諸聖徒日前夕(ハロウィン)。その後、教会暦は終末へと向かい、11月28日からは降臨節(アドヴェント)が始まります。そして、いつも、新しい、クリスマス…。(神戸聖ヨハネ教会牧師・神戸松蔭女子学院大学 非常勤チャプレン)

非常勤チャプレン

# 神戸昇天教会礼拝堂聖別 百年記念礼拝・祝賀会を終えて

司祭 ミカエル 小南 晃

神戸昇天教会礼拝堂聖別百年記念礼拝・祝賀会を、9月23日(木)、約180人の参加者を得て、無事に終えることが出来ました。雨模様ですが心配されず、予定通りに進めることが出来た。神様と皆様から感謝申し上げます。

記念礼拝は午前10時30分から、中村教区主教司式・説教、現任及び歴代牧師の補式で執り行われました。礼拝堂は満席で、会館ホールに音響・映像を送り、会衆席が礼拝後、礼拝堂にて宮永好章



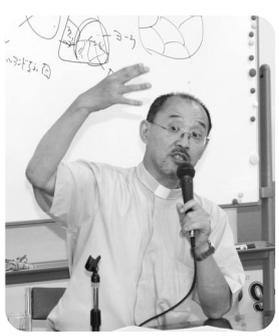
実行委員長が挨拶と感謝を述べ、教区主教より祝辞を頂き、来賓紹介が行われました。その後、記念写真撮影(左上写真)、12時30分から、会館ホール、境内テント、礼拝堂を会場にして祝賀会が行われました。

桑原 一郎司祭の食前感謝と岡崎正司祭の乾杯音頭で開会し、食事と歓談の間に、プロジェクトで当教会百年史を見て頂きました。続いて、古本純一郎主教、覚前 栄様や歴代教役者の縁者の方々、会館利用者や近隣の方々から祝辞を頂きました。また昨秋の映画ロケに当教会を紹介された神戸フィルム・オフィスの担当者より謝辞を頂きました。

最後に私(小南)から感謝と閉会挨拶、主の祈り、教区主教の祝福、頌栄斉唱をもって、午後2時10分、恵みの内に会を閉じました。

## 神戸昇天教会礼拝堂聖別 百年記念信徒研修会 「神の宣教(ミッシォ・デイ)」

9月4日(土)午後1時30分から、講師にウイリアム神学館館長の吉田雅人司祭をお招きし、



講演される吉田雅人司祭

礼拝堂聖別百年記念としての信徒研修会を開催しました。参加者は他教会の方も含め26名。上記をテーマとしたのは、地域への関わりを目指す上でバックボーンとなる神学的立場とされるからです。

1950年代から提唱され始め、それまでの神がまず教会に働き、それを教会が世界に伝える、「神↓教会↓世界」という考え方から、既に神は世界の中で働いておられ、教会はその働きを共に行う、「神↓世界↓教会」という捉え方に転換すべきではという内容でした。

**映画 ふたたび**  
**SWING ME AGAIN**  
 監督/塩屋 俊  
 主演/鈴木亮平・財津一郎

厚生労働省推薦の、ハンセン病問題啓発の内容も含む映画で、「往年のジャズの名曲に乗せて贈る、心温まる感動作」です。  
 ラストシーン近くに、神戸昇天教会礼拝堂が美しく映し出されます。

**11月13日(土)**  
**全国ロードショー**

# 第5回 日韓聖公会青年セミナー2010

8月11日(水)〜16日(月)、日本聖公会青年委員会・大韓聖公会韓国協働プロジェクト委員会主催の右セミナーが、長崎カトリックセンターを宿泊場所として開催された。それに先立ち、日本側参加者事前準備会が、7月18日(日)〜19日(月)、名古屋学生青年センターで開催された。当教会信徒、井田桃子姉が参加された。(宣教部報告より)

## セミナー参加の感想

デボラ 井田 桃子

今回のセミナーでは、日本の被害と加害両方を学び、共に分かち合いました。

私が知っていること以外にも、余りにも多くの残酷な目を覆いたくなるようなことを、日本がしてきたことを知って、正直、「韓国が日本を救す日なんて来ないのではなか。お互いが分かり合える日なんて来ないので

は」と感じてしまう程でした。過去の事実を知るだけで、大きな過ぎる問題に対して何も出来ない、どうしていいかわからないという思いでいっぱいでした。

でも岡まさはる記念館の高實康稔さんと、被爆体験の語り部の成臺美彌子さんの話で、今回学んだことを勉強して終わるのではなく、他の人に伝えることが私たちの使命で、過去の勉強

としてではなく現在の問題として捉えて欲しいとありました。それをどう実践して行くかは色々あると思います。

私は、まずは家族に伝えます。そして、今年は韓国併合百年を迎える年なので、ニュースや新聞にも多く出ていて、話題にもしやすく、一歩進めるチャンスではないかと思えます。特に日本人は学校でもほとんど学ばないので、日本がどんなことをしたのか、また、日本が被害を受けた原爆でも、二重被害にあった韓国・朝鮮人が沢山いるということも伝えるだけでも、伝えたい人に多少なりとも関心を持ってもらえるのではないかと、思っています。

近年見られがちな、日韓の関係は過去の問題は何も知らず、知っていても無関心で交流を深めているように思えます。それではいつか、過去の過ちを繰り返してしまいかも知れません。また憎しみや苦しみを抱えたまま、上辺だけの関係になってしまいかも知れません。そうならないためにも、一人でも多くの人に伝えることから始めます。

神様のもと、こうした素晴らしい交わりに加えて頂いたことに感謝します。

(米子聖ニコラス教会信徒)

### 瀬戸内伝道区信徒修養会

伝道区長 司祭  
ヨハネ 角瀬 克己

去る9月20日(月・祝)、高松聖ヤコブ教会を会場に、本年の瀬戸内伝道区信徒修養会が開催され、伝道区内4教会から33名が参加しました。

本年は「いきいきした教会に」のテーマのもと、教会におけるセクシャル・ハラスメント防止についての学びを行いました。

講師は京都教区・田辺聖公会信徒で、日本聖公会管区の「女性に関する課題の担当者」、通称女性デスクの木川田道子さんが務めてくださいました。

「教会にセクシャル・ハラスメント?そんなことはありませんか」と思われている方もあるかもしれませんが、具体的事例をもとに作られたスキットを参加者で演じてみると、成程こうい



瀬戸内伝道区。研修後はうどん打ち修業。

う事がそれに当たるのか、というところが明確になったのではないかと思います。

またセクシャル・ハラスメントとは、男性から女性に対して行われるとは限らず、女性から男性に対して、さらに同性同士の間で、とさまざまなケースがあることにも気づかれたと思います。教会は人と人の交わりを大切にすることで、他人が不快と感じるような言動を察知し、互いに快い関係を作りたいものだと思います。

修養会の後半は、会場を「さぬき麺業」に移して、うどん打ち体験をしました。中力粉にまよんべんなく水を回してこね上げ、足踏み(手で伸ばしたのですが)し、細く切って、お店の方に茹でて頂きました。昼食をしっかりと食べてきましたが、この重労働に、参加者はおなかを空かしゆであがった手打ちうどんをおいしくいただきました。参加者には、さぬき麺業から「修了証」が送られました。

最後に、来年の当番教会は岡山聖オーガスチン教会であることを確認して終了しました。

### 徳島伝道区信徒修養会

伝道区長 司祭  
パウロ 瀬山 公一

9月20日(月・祝)に徳島伝道区信徒研修会を開催。



徳島伝道区。練習後のお茶のひととき。

講師に、教区礼拝音楽担当の原田里香子姉をお迎えして、聖歌について学びました。

今年、5月の合同礼拝に続いて、2回にわたって聖歌の学びと練習をしました。

今までは、あまり馴染みがなく難しく用いなかった聖歌もありましたが、作者の思いを知り、関心を持って、講師のご指導のもと聖歌を歌う喜びに触れる研修会でした。参加者35名。

### 山陰伝道区信徒修養会

伝道区長 司祭  
マルコ 平野 一郎

10月16日(土)〜17日(日)、鳥取県東伯郡の国民宿舎「水明荘」において、山陰伝道区信徒修養会が開催されました。

講師に横浜教区の三鍋裕主教様をお迎えして、「平和・主の祈りについて」のテーマをお聴



山陰伝道区。講師の三鍋裕主教様と記念撮影

きました。出席者は33名。信徒修養会の1日目は主教様によるご講話、その後各教会の自己紹介と親睦、2日目は聖餐式、伝道区会という内容でした。

主教様のご講話の中には多くの感動・印象に残るお話がありました。その中で、「世界中で12億人が貧困と飢餓の中にあって、「日本にいる私達だけが幸せであっていいのか」と問われたこと、平和ということに関して、「無力と微力は違う。微力は積み重なると大きな力となる」と語られたこと、主の祈りのご説明の中で「都合の良い時だけ私達は神様を利用していないか」と述べられたことなど、本当に考えさせられ、共感を覚え、感銘を受けました。

### 第5回 教区事務所会議報告(抜粋)

日時 10年9月10日(金)  
18時00分〜20時00分  
場所 教区会館会議室

#### I. 報告事項

※教務局長報告  
第4回教区事務所会議(持ち回り)において、宣教部提出の「日韓聖公会青年セミナー参加の井田桃子姉に参加費補助を行う件」を承認した。(2頁を参照)

#### II. 決議事項

※財務部作成の教区会提出の予算及び決算関係の諸議案を承認した。

### 第6回 教区事務所会議報告(抜粋)

日時 10年10月10日(日)  
18時30分〜20時00分  
場所 教区会館会議室

#### I. 決議事項

1. 収獲感謝献金は申請のあった浜田基督教会(屋根塗装140万円)と岡山聖オーガスチン教会(礼拝堂にトイレ新設100万円)を奉献先とする。(4頁参照)  
2. 「神戸教区旅費及び宿泊手当に関する内規」を一部改定する。2011年1月1日より改定施行する。

# 収穫感謝献金のお願い

募金額：240万円

募金期間：10月13日～11月22日

2010年度の奉献先は下記の2件です。

○浜田基督教会(礼拝堂屋根塗装修繕)

奉献額：140万円

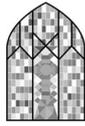
(総工費240万円。教会内準備金100万円。)

○岡山聖オーガスチン教会(礼拝堂トイレ新設)

奉献額：100万円

(総工費150万円。教会内準備金50万円。)

各教会にポスター、趣意書、献金袋が配布されています。お祈りに覚えつつ、2010年11月23日(火)の教区会にてお献げください。



9月4日(土) ミカエル 岡本 拓也 神戸聖ミカエル教会

9月12日(日) ルツ 勝部 真生 浜田キリスト教会

9月26日(日) トマス 山岡 毅功 エステル 山岡 登喜子 神戸聖ミカエル教会

9月4日(土) トマス 山岡 毅功 エステル 山岡 登喜子 神戸聖ミカエル教会

9月26日(日) トマス 山岡 毅功 エステル 山岡 登喜子 神戸聖ミカエル教会

9月19日(日) トマス 山岡 毅功 エステル 山岡 登喜子 神戸聖ミカエル教会

9月26日(日) マリア 栗山 泰子 クアラ 栗山 寛菜 神戸聖ミカエル教会

## 鳩だより

《敬称略》

### 祝 洗 礼

### 祝 聖 信

### ご 逝 去

### 祝 聖 婚

## 12月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2010年12月2日(木) 午前10:30  
 場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
 司式 主教 中村 豊  
 説教 司祭 河村 博之

\* 12月の記念逝去教役者 \*

|     |     |              |           |
|-----|-----|--------------|-----------|
| 2日  | 主教  | チャニング・ウィリアムズ | 泉         |
| 2日  | 司祭  | ヨハネ          | 長寄 森      |
| 5日  | 伝道師 | テモテ          | 岩井 祐彦     |
| 5日  | 司祭  | パウロ          | 島田 信      |
| 10日 | 司祭  | パウロ          | 大石 虎太郎    |
| 10日 | 伝道師 | パウロ          | 武田 頼夫     |
| 14日 | 伝道師 | イブリン・プレストン   | 水野 功      |
| 14日 | 宣教師 | イブリン・プレストン   | 貫 主税      |
| 14日 | 司祭  | ペテロ          | 尾形 虎三     |
| 16日 | 司祭  | ペテロ          | 尾形 虎三     |
| 19日 | 宣教師 | マリー・ホームズ     | ハナ・D・スコット |
| 20日 | 宣教師 | ハナ・D・スコット    | ペテロ 加藤九十九 |
| 21日 | 司祭  | ペテロ          | マルコ 伊墻 八東 |
| 29日 | 司祭  | マルコ          | オードリー・ヘンテ |
| 30日 | 司祭  | マルコ          | オードリー・ヘンテ |
| 31日 | 司祭  | マルコ          | 杉野 貢      |



## ご結婚おめでとう

ご報告します

10月16日(土) 午前11時から、オーガスチン與賀田光嗣司祭とマリア阿部紫乃姉の聖婚式が、神戸聖ミカエル大聖堂にて、中村教区主教司式により執り行われ、信徒及び新郎・新婦のご親

族、ご友人など、約250人が参列し、お二人の結婚を喜び祝いました。

お二人は、與賀田師がウイリアムズ神学館在学中、京都で出会われ、紫乃姉は同師とお付き合いをされる中で求道。郷里の東北教区鶴岡聖公会にて受洗されました。

説教では林和広司祭が、「私たちは十字架の下から派遣され、またそこに戻って来る。お二人の結婚生活も主イエス・キリストを基とされますように」とのメッセージを語られました。

披露宴は爽やかな秋晴れの下でのガーデン・パーティーとなり、司会・進行役を長田吉史司祭が担当され、宴のはじめに、中村主教は、「夫婦は互いに神から与えられたふさわしい助け手である。ことに何時しか高慢に陥る危険が伴う牧師にとって、妻は謙虚さに立ち帰るための良き助言者となり得ること、同時に妻という存在は生涯の謎だが、そこが大切」と語られ、また新婦

## 11月28日(日)

(降臨節第1主日)

### 人権活動を支える主日

すべての人権活動の働きを覚えて祈り、信施をお献げしましょう。

の元職場の上司であられ、ご友人でもある見満雅美様からは「互いに安らげる家庭を築いて下さい」との祝辞を賜り、そのほかにも多くの方々よりお祝いの言葉が贈られました。

最後に、新郎新婦を代表し、與賀田司祭から参列者への謝辞と共に「結婚は愛によって新たなものを生み出していく関係です。一つには実際の子供ですが、同時に、これから二人で人々への愛と信仰という子供を生み出し、育んで行きたい」との挨拶を頂きました。

お二人の新たな門出に、神の祝福の豊かなることお祈りしたいと思えます。(小南記)

### 《次号予定》(カラー版)

巻頭 中村 豊 主教  
 大聖堂耐震改修工事完了感謝  
 礼拝、キリスト教入門Q&A  
 ※クリスマス礼拝・諸行事へのお誘いのために用いてくだされば幸いです。

(広報部)